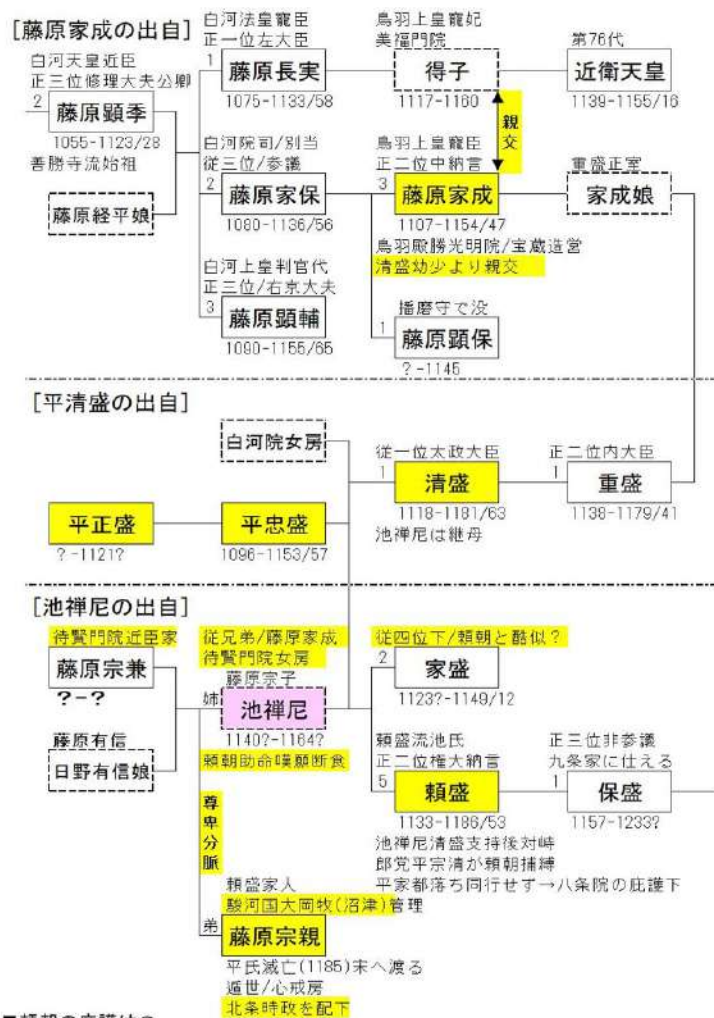


【清盛と池禪尼の相關図 & 頼朝・文覚・信兼/兼隆と上西門院の關係】

【藤原家成&平清盛・池禪尼 相關図】



【旧説】 頼朝監視・保護は池禪尼 & 待賢門院の意向
 【新説】 頼朝実母由良御前の実家、熱田大神宮家 & 上西門院の意向

人名	文覚	後白河天皇	統子内親王(実姉)	源 頼朝	盛兼-信兼-兼隆
	遠藤盛遠(摂津渡辺党)	雅仁親王/第四皇子	→上西門院	源義朝三男	盛兼(1091-1168/77)
生誕年	1139生	1127生	1126生	1147生	信兼(1107?-1184/77?)
久安元年 1145		母藤原璋子(ヨウ)	母待賢門院亡→		
2年 1146		(待賢門院)	上西門院中核		
3年 1147				誕生	信兼:右兵衛尉任官(萬疋) 統子内親王年給/上西門院衆
4年 1148					盛兼:和泉守遷任
5年 1149	10才元服?上西門院衆				
6年 1150					
仁平元年 1151					
2年 1152					信兼:左兵衛少尉
3年 1153					
久寿元年 1154	15才兼隆室念持仏體?				兼隆:香山寺開創/念持仏
久寿 2年 1155					信兼:乗合事件(頼長與)
保元元年 1156	保元の乱7/11 17才出家?(延慶本)誤記	天皇29才	30才	勝組/義朝・義平・朝長・頼朝・希義	勝組:信兼(兼隆)80騎 盛兼:鳥羽殿参陣(源平壘)
2年 1157					
3年 1158	19才出家?(WikiP)誤記	上皇31才	准母立后32才	10才元服? 皇后宮権少進11才	
平治元年 1159	平治の乱/文覚・上覚は武士	32才	院号宣下33才	上西門院蔵人12才 伊豆流罪	勝組:信兼/正五位下
永暦元年 1160					
応保元年 1161					
長寛元年 1163	↓24才文覚絶食/出家?				
永万元年 1165	文覚出家時期(1163-68)?				
仁安元年 1166					
2年 1167		40才	41才	20才	信兼:河内守
3年 1168	29才出家(史実で確認)	41才	42才	21才	↓盛兼:娘/高階仲行嫁ぐ 盛兼:没/77?
嘉応元年 1169					
承安元年 1171		法皇			
2年 1172	33才	45才	46才	25才	
3年 1173	34才神護寺強訴→伊豆流罪	46才		26才	
4年 1174					信兼:和泉守
安元元年 1175					↓
2年 1176	鹿ヶ谷事件(惟宗信房関与)				兼隆:賀茂祭検非違使右尉
治承元年 1177	5/16白山事件(朝廷VS延暦寺)				兼隆:明雲警護/検非違使
2年 1178	39才流罪赦免	51才	52才	31才	兼隆:大夫尉/五位
3年 1179					1/19兼隆:流罪/信兼:別功賞
4年 1180	以仁王/頼政蜂起(5/26)→討死	53才	54才	8/17兼隆:夜襲討死	信兼:出羽守→後任和泉守→ 高階仲基(嫡男)/信兼娘婿
逝去	1203没/64才	1192崩御/65才	1189崩御/63才	1199没/52才	兼隆1180没/51?

【日本史 UpDate. ㊟】

- ・ 頼朝は池禪尼の「命乞い」で伊豆流罪となる？ ⇨ 熱田大宮司家(由良御前実家)の嘆願が正しい？ ⇨ 上西門院(後白河天皇姉)の意向(頼朝は上西門院蔵人)。
- ・ 頼盛家人宗清が池禪尼へ命乞い嘆願『吾妻鏡』(1184.6.4)は無い。頼盛尾張守→宗清目代であり頼朝捕縛は正しいが、命乞いは『吾妻鏡』の創作か？
- ・ 頼盛一族は都落ち(1183)には同道せず、八条院(父鳥羽天皇/母美福門院)の庇護を受ける。(反平家?)
- ・ 頼朝、文覚、信兼は上西門院衆(警固武士)で、いわゆる職場の同僚であり、頼朝と兼隆は流罪人仲間の隣人(1年半)であった。
- ・ 信兼一族も都落ちには同道せず、頼朝軍(代官義経)に恭順し義仲を追討、官位や領地も安堵された。(親政派→後白河法皇に従う)
- ・ 鎌倉府が配置した伊勢守護大井実春/の横暴(領地争議)から敗戦覚悟の蜂起(1184.8)。又、隣国伊賀国の伊勢平氏、平田家継も伊賀守護大内惟義/の横暴(領地争議)から、信兼と共闘蜂起するも共に敗死。